

### 愛称募集、開館前になぜしない!?

**Q** 市民の関心を高める目的はもちろん、看板やポスター、広報が二度手間とならないよう、三条市体育文化会館の愛称は開館に合わせて募集し決定すべきではないか。

**A** 市民に実際に施設を利用いただきながら募集していきたい。

### 東京2020オリンピックピック・パラリンピックの推進について

**Q** コソボ共和国のホストタウンとして、どのように取り組んでいくのか。

**A** 選手団の宿泊先や練習相手などの滞在環境を整え、好成績が収められるようサポートを行う。市民と選手との交流が深まるよう推進する。

**Q** オリンピック聖火リレーにおける市民の気運醸成はどうか。

**A** 詳細は12月末頃に公表される。地元小中学生を中心にオリンピック聖火リレーを沿道で応援するなど新潟県や燕市と連携して検討する。

### エンディングノートについて

**Q** 高齢者が人生の終末期を迎える死に備えて、自身の希望などを書きとめておくのがエンディングノートである。現在の「わたしの安心ノート」を活用してはどうか。

**A** 一般的に認知されるようになってきているので、サブタイトルに加えるなど工夫していきたい。

### 幼児教育の無償化について

**Q** 市内にある幼稚園・保育園の幼児教育費は今年10月から無償となるのか。

**A** 3歳児以上は無償化と考えている。副食費についてはこれまでの実績から積算中である。

### 嵐南小学校・第一中学校 プール損害賠償裁判、判決結果について

**Q** 裁判結果に関して市長と教育長の所感はどうか。



画像提供:Tokyo 2020

### 空き家等への対策について

**Q** 空き家が増えてきているが管理不全の特定空き家の件数はどうか。

**A** 特定空き家と認定した件数は195件で、更地などの改善は114件、令和元年5月末現在では、未改善の特定空き家は81件である。

**Q** 特定空き家等に認定された不良住宅の解体費の一部を助成する除却費補助金についてはどうか。

**A** 本来的に個人が適切に管理すべき財産に対して、公的な支援を行うことは公平性、平等性の観点から慎重になりざるを得ないと捉えている。他の自治体等の動向を注視し、引き続き研究していきたいと考える。

### 投票所に入ることができない子どもについて

**Q** 投票所に入ることができない子どもは、18歳未満まで拡大された。調査によると、投票率は子どもの頃に親について投票に行った人の方が、ついていけない人より20ポイント以上高い。どのように捉えているか。

**A** 子どもの時に親と一緒に投票所に行くことは、意識啓発として一定の効果があるものと捉えている。今後、広報さんじょう等を通じて周知に努めたい。

### 農業用ビニールの処理

**Q** 高齢化もあり処理が大変、環境省の要請に基づき市で処理できないか。

**A** リサイクル処理が基本、実態を把握し支援の在り方、必要性を研究する。

### 中高年の引きこもり対策

**Q** 相談、支援体制について問う。

**A** 福祉課、相談支援ルームなどで相談・支援している。ハローワーク、若者サポートステーションなどで社会復帰就労支援に取り組んでいる。

### 名誉市民 小林ハルさん 生誕120年

**Q** 来年は生誕120年で映画も公開となる。市としてもイベントなどを行うのか。

**A** 映画の試写会、パネル展、贅女唄実演などを考えている。

### 音声による緊急通報の困難な人について

**Q** 聴覚、言語機能障がいのある人のNet119緊急通報システムを導入してはどうか。

**A** 既に導入している燕・弥彦の消防本部や、その他に導入が検討されているところもある。研究を進めていきたい。



Net119で繋がる可能性のある消防本部



名誉市民 小林ハルさん

### 高齢ドライバーの免許返納

**Q** 支援策であるデマンド交通ひめさゆりおでかけパスの割引について、効果の検証と今後の取り組みについて問う。

**A** 一定の効果は出ている。今後新たな公共交通の在り方についての検討を進める。